

学級活動指導案

指導者 広島市立〇〇小学校教諭 〇〇 〇〇

- 1 日 時 平成21年10月〇日(〇)
- 2 学 年 第6学年〇組 〇〇名
- 3 題材名 卒業までの『最高の思い出』作り 一心を伝えるプロジェクト

4 題材設定の理由

○ 題材観

小学校生活最後の大きなイベントは卒業式である。児童にとって小学校を卒業する時に「この学校を卒業できてよかった。」「小学校生活をクラスの仲間と一緒に過ごすことができよかった。」と思えることは、その将来にとってかけがえのない経験になると考える。

6年〇組の学級目標は「自分の行動に責任をもち、笑いがたえないクラス」である。これは、4月の学級開きの際に全員で話し合っただけで決めたものであり、児童の願いから生まれた目標である。「最高学年として責任をもって行動できるようになること」、「笑いのたえない明るい学級にすること」は卒業に向けての児童の最終目標でもある。

本題材の「心を伝えるプロジェクト」で児童が取り組む『最高の思い出』作りとは、自分たちの感謝の気持ちを様々なかたちで表そうとするものであり、卒業までにみんな協力して学校や周囲の人々に自分たちの心を伝えようとする活動である。卒業を控えた6年生にとって、集団として一つのことを決め、集団として一つのことに取り組むことを通して、仲間の大切さをじっくりと感じたり、仲間のよさを新しく見つけたり、仲間から新たな自分の側面に気付かせてもらったりすることができる題材である。また、後期が始まり、修学旅行を間近に控えたこの時期に本題材を設定することは、児童に学級活動の意義を再認識させる好機である。本題材を学級活動の軸として、卒業式まで児童とともに歩んでいきたいと考えている。

○ 児童観

本学級の児童は明るく活発である。休憩時間は友達と運動場で遊んでいる姿をよく見かける。また、学習課題等に一生懸命に取り組み、こつこつと努力できる児童が多く、集中した時は静まりかえった雰囲気の中で個々が活動できるよさがある。しかし、学級活動等では、発言力のある児童の意見に流されてしまう傾向がある。そのため、多くの児童は決定を他人任せにして自分の思いをもてなかつたり、短時間で話合いが展開する場面では自分の考えをもてなかつたりする児童もいる。

また、これまで係決め等の話合い活動では、教師が話合いの中心になって進めてきた。「教師－児童」というやりとりの関係が中心であったため、「児童－児童」というみんなで考えを出し合い、みんなで決めていくという話合い活動に慣れていない。そのため児童が中心になって話し合う場面では、深まりが出にくい状況があった。

本学級の児童一人一人は「仲のよいクラスにしていきたい」、「みんなと一緒に楽しく活動したい」という願いを漠然とではあるがもっている。しかし、そうしていくためにどうしたらいいのかという方法がクラスの中にしっかりと浸透しておらず、今回の学習を学級が一つの集団としてまとまっていくための契機としたい。

○ 指導観

指導に当たっては、まず、学級内の掲示板を活用して事前に議題を提案したり、教師が意図的に話題にしたりすることで議題を意識化させるようにしていく。そして、自分の考えをまとめることのできるシートを事前に配布することで、学級会までに自分の思いや考えをもつことができるようにする。

また、話合いの進め方についての活動シートを全員に配布し、みんなで話合いの進

め方を確認することで、全員が流れを把握した上で学級会を進められるようにしていく。さらに、運営委員が活動シートをもとに自信をもって話し合いを進められるよう、学級会の前には詳細な打ち合わせをするようにする。

学級での様々な活動の中では、振り返りシートにより学級での自分やみんなの働きを振り返ることが常にできるようにすることで、学級のまとまりを感じられるようにしておく。振り返る視点については教師が具体例を示すことで、児童がその内容を具体的にイメージできるようにする。

5 題材の目標

『最高の思い出』作りの活動にみんなで協力して取り組むこと通し、自分の行動に責任をもち、笑いのたえないクラスを築こうとする。

6 題材の観点別評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
○ 学級の生活の充実を目指して『最高の思い出』作りに関心をもち、みんなで協力して活動しようとしている。	○ 学級の一員としての自覚をもち、学級の生活の充実を目指して、課題について考え、みんなの意見を聞き自分なりによりよい判断をしている。	○ 『最高の思い出』作りのために、役割を分担し、みんなで協力して活動することができる。	○ 話し合い活動を通して、みんなで協力して活動することの意義・運営方法・役割分担などが分かる。

7 指導と評価の計画

次	時	活動内容	具体的な評価規準・(評価方法)
一	1	○ 学級目標に向かって取り組むためにクラスみんなの意識を統一する旗を作る。	【知】話し合い活動の進め方や振り返りの仕方を理解している。(観察・振り返りカード)
	2	○ さらに学級目標に向かって取り組むためにクラスみんなの意識を統一する合言葉を作る。(本時)	【思】話し合い活動の進め方に基づいて合言葉について考え、みんなの意見を聞き自分なりによりよい判断をしている。(観察・ワークシート)
二	1	○ 『最高の思い出』作りのために、みんなで協力してどのようなことに取り組むのか(清掃活動等を想定)、計画を立てる。	【関】学級の一員として自覚をもち、意欲的に話し合い活動に取り組んでいる。(観察・振り返りカード)
	2	○ 計画したことを実行してみんなで振り返る。	【表】計画に基づいてみんなで協力して活動することができる。(観察・振り返りカード)
	3	○ さらに『最高の思い出』作りのためにみんなで協力してどのようなことに取り組むのか(感謝の手紙作り等を想定)、計画を立てる。	【関】学級の一員として自覚をもち、意欲的に話し合い活動に取り組んでいる。(観察・振り返りカード)
	4	○ 計画したことを実行してみんなで振り返る。	【表】計画に基づいてみんなで協力して活動することができる。(観察・振り返りカード)
三	1	○ 『最高の思い出』作りのために、実行してきたことをみんなで振り返り、学級目標について考える。	【思】これまで実行してきたことをもとに、学級目標について考えている。(観察・ワークシート)

8 本時の目標

話し合い活動の進め方に基づいて、合言葉について考え、みんなの意見を聞き自分なりによりよい判断をすることができる。

9 本時の展開

学習活動	予想する児童の反応	教師の支援	評価（方法）
1 本時のめあてを確認する。			
『最高の思い出』作りに取り組む時の『みんなの合言葉』を考えよう			
2 自分たちの意識を統一する合言葉について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラスにとってどの合言葉がいいかな。 ・ この合言葉が選ばれるように、みんなを説得できるような意見を言おう。 ・ わたしは〇〇がいいと思います。わけは、～～だからです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いが混乱し、運営委員が困った時には、運営の仕方について助言する。 ・ 一人一人の意見をじっくりと聞くことができるよう言葉掛けをする。 	<p>【表】話し合いのルールにそって、みんなの意見を聞いたり自分の考えを伝えたりしている。 (観察)</p>
3 話し合いをもとにみんなの意見を聞き自分なりによりよい判断をしていく中で、みんなで合言葉を決める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ やったあ。ぼくの推薦した合言葉に決まった。うれしいな。 ・ 残念。わたしの合言葉は選ばれなかったけれど、みんなで決めたのだからこれを合言葉にみんなで最高の思い出を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分なりの判断に躊躇している場面が見られたら、班で話し合うよう運営委員に助言する。 ・ みんなで決める前に、一人一人が納得できているか確認しておく。 	<p>【思】話し合い活動の進め方に基づいて、合言葉について考え、みんなの意見を聞き自分なりによりよい判断をしている。 (観察・ワークシート)</p>
4 今日の活動を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ わたしは、今日の話し合いの中で、みんなを説得できるような意見を言えてよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的に振り返りがしやすいよう、振り返りカードを用意し、振り返りの具体例を示す。 	
5 振り返りカードに書いたことをもとに発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 〇〇君は話し合いで、友達の意見を素直に認めていたのですごいなと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一つ一つの発表をじっくりと聞き、肯定的な評価を返す。 	